

令和2年度・西伊豆町子育て支援センター “たんぽぽ通信” 8月号

仁科認定こども園・0558-52-0583、1110（呼）

伊豆海認定こども園・0558-53-0755（呼）

蒸し暑い日が続く中、あちらこちらで大洪水、土砂災害により、大切な家族や家が濁流や土砂に飲み込まれ心が痛みますね。最近では異常気象でいつ我が身に起こりうることも知れません。災害時、自分自身、家族をどう守ればよいのか？コロナ禍での生活の中で考えていく必要があると思います。コロナウイルス感染も心配ですが、まずは命優先です。万が一に備えて体温計、アルコール消毒液、マスクを避難リュックに入れておくことも大事かも知れませんね。災害時に必要なものは、各家庭によって違います。乳幼児がいる家庭では、水、粉ミルク、離乳食、紙おむつ、おんぶ紐、衣類などがすぐに思い出されますが、おもちゃやお気に入りのタオルなどぐずっても『これがあれば機嫌が直る』といったグッズやおやつも若い子どもがいる家庭では必需品です。ぜひ、我が家の必需品リストを作ってみてください。

8月のお知らせ

- 利用にあたっては、引き続き直通電話での予約をお願いします。
仁科支援センター ☎ 090-4793-6781
田子支援センター ☎ 090-7696-2647
※大人はマスクの着用をお願いします。

8月21日（金）は合同センター会議のため、午後は閉所します。



『夏の暑さで食欲が落ちていませんか？』

蒸し暑さの厳しい毎日で、お子さんの食事（離乳食）の食べが悪くなり心配なお母さんもあるかと思いますが、そんな時は、一日の生活を見直してみてください。

一日中クーラーの効いた室内にいたのでは、食欲も出ません。メリハリのある生活をして「空腹の時間」を作りましょう。朝、起きる時間と夜寝る時間を基点にだいたい一定の時間に食事（授乳や離乳食）、涼しい時間に散歩、昼寝、遊びなどを組み入れて生活リズムを作るといいですね。離乳食、幼児食共にこの時期は夏野菜を積極的に使いましょう。旬の食べ物が一番おいしいですよ。また、幼児期に咀嚼のできない子ども、咀嚼したがるならない子どもにならないようにするために離乳期の対応が大切です。よく噛んで（モグモグして）食べることを知らせたり、発達の段階を見て硬さや大きさを変化させましょう。

また、子どもに多様な食材を経験させることは子どもの食欲不振、偏食の予防にもつながります。

【夏の調理で気をつけたいこと】

- 手はしっかりせっけんで洗いましょう。
- 調理器具は、熱湯や漂白剤を使い、常に乾燥させましょう。
- 食品は水でよく洗いましょう。
- 離乳食を常温で放置しないようにしましょう。
- 細菌を増やさないように冷凍しましょう。
- 冷凍したものは、食べる直前に再加熱させましょう。



子どもたちは「遊び」がお仕事です♡

手や指先の発達とともに物をつかんだり、つまんだり穴に入れたりすることが、楽しくなります。穴に「ポットン！」と落ちる感覚も面白いようです。「あれ～？いなくなっちゃった」と穴をのぞく子どもたちの姿がとても可愛いです♡
ボールだけではなく穴の中に何でも「ポットン！」子どもは好奇心のかたまりです。



「これ～！」と指さしをするのが嬉しいSちゃんにママは「きんぎょがにげた」の絵本を選んでくれました。



フェルトにボタンをつけて穴を開けた物をつなげることに夢中のYちゃん。長くつなげると…「あ！はらぺこあおむしになったよ♡」
「出来た！」と言う喜びから繰り返し楽しんでます。衣類の着脱へも興味を示したり、遊びの中から、自立へつながるおすすめの遊びです。



小さなママ

子どもはママの姿を観察して、ママのまねっこをすることが大好きです。

ぬいぐるみや人形に洋服を着させてあげたり「いい子いい子」と頭をなでたり、ママごとの食べ物を食べさせてあげたり、ママ気分満喫です。

こうして遊びの中でお世話をしながら日常生活のルールを覚えていくのだと思います。

【ぴょーん】 まつおかたつひで

ハッピー絵本タイム



かえるもこねこもかたつむりも？身近な生き物がページをめくるたびに元気に紙面いっぱいジャンプします。ユーモアたっぷりの動きを「ぴょーん！」と口真似をしながら親子で楽しんでみてはどうですか？きっとお子さんは喜びますよ♡コミュニケーションが十分にとれるおすすめの絵本です。